

令和8年度都立橋高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	宿題テスト	各科目において「文章を書く」学習活動を取り入れる。定期的に漢字の小テストを行い、語彙力を養う。	作文や要約、振り返りなど、様々な学習活動を取り入れることで、書くことに対する抵抗感をなくさせるとともに、書ける字数を徐々に増やしていくような指導を行っていく。
地歴公民	基礎学力の定着と体験的な学びの充実	ICTや実物教材を活用して生徒の興味関心を高め、主体的な学びを実現する。	聞く、話す、書く、読み取るなどの様々な活動を多く授業に取り入れ、社会的な問題に対して自分の考えを構築し課題解決に取り組む力を養う。
数学	基礎学力の定着と向上に向けた指導の充実	1、2学年で習熟度別授業を行い基礎計算力の向上を図る。特に1学年は定期的に小テストを行う。長期休業中は、学期の成績不良者に対して講習を行い次の学期に向けての準備をさせる。	各考査前に勉強会を開き、質問の時間を確保する。答案返却時に振り返り学習を行い、問題解決に向けた自己評価をさせ主体的に取り組む態度を身に付けさせる。長期休業後、2学年は宿題テストを実施し評価させる。
理科	基礎学力の定着と表現力の育成	身近な事象や日常生活と関連付けた導入を行うことで、興味・関心を高める。ICTを活用し、視覚的な教材や反復的な活動を取り入れることで、学習内容の理解を深め、知識の定着を図る。	ペアワークを積極的に取り入れ、生徒同士の対話を通じて、自らの考えを整理・表現する力を育成する。ICTを活用し、他教科でも活用できる学習方略の指導を通じて、表現力の育成と主体的に学ぶ力を育成する。
保健体育	体力の向上、生涯にわたる運動や健康に関する知識の習得	活動量を確保しながら主体的に行える授業内容を展開する。段階的な運動や身近な例を取り上げた知識を多く取り入れる。	グループでの学習を多く取り入れ、計画・実践・改善の一連の流れを生徒自らが行う。本校の生徒に即し生活習慣や健康に関わる内容を多く取り入れる。
外国語	英語での思考力・表現力の育成	授業にペア・グループワークを活用し、表現する機会を増やす。また、留学生受け入れによる交流やJET/ALTによる指導を効果的に活用しながら育成していく。	年に1回、レシテーションコンテストを、年に2回、インタビューテストを行う。
家庭	自立・共生・創造主体的に生活に向き合う学びの充実	生活に必要な基礎的な知識・技能の確実な定着を目指しきめ細やかな指導を行う。自己理解や他者理解を促す実習や作業など、動きのある授業展開を行う。	他教科との関わりを意識した授業を行い、学びを自分事として捉え、生涯にわたる生活の在り方を考える力を養う。
ビジネス	ビジネスに関する基礎的知識の定着と技能の修得	各科目ごとに指導目標を確認し、生徒の状況を共有しながら適切な指導を進めていく。演習問題を多用し、知識の定着と技能の修得をはかる。ビジネスシーンを意識してマナー指導も重視する。	3年生のマネジメント演習をビジネス科目の総決算に位置付けて実践力を養う。各科目での基礎力をベースに、各種検定試験の受験機会を設けるとともに、上位級取得を目指す。
情報	パーソナルコンピュータを文房具同様に使いこなせるようになる。情報リテラシーの向上	1年はパーソナルコンピュータに慣れること、タイピング、一部のアプリケーションソフトを使いこなせるようにする。2年は情報の基礎から理論を学び、情報活用能力を身に付ける。3年では、パーソナルコンピュータの発展的な使用方法を学び、情報を科学する。	検定等を取り入れ、技術向上を視覚的・体感的に行う。主体的に取り組むような実習内容を展開し生徒の興味・関心を引き出す。パーソナルコンピュータのアプリケーションソフトを使いこなせるようにする。
ものづくり	各分野の基礎知識の定着と知識・技術の向上	各分野の課題、指導方法等の確認を行う。補習を行い、成績不振者への、きめ細かい指導を行う。	2年生の実習選択(ものづくり・伝統工芸)や3年生の授業選択等を含め、主体的に取り組む態度を身に付ける。

